

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆様とともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆様が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1)調査対象 | 鳥取県内在住の 18 歳以上 75 歳未満の者 3,000 名 |
| (2)抽出方法 | 住民基本台帳に基づく無作為抽出法 |
| (3)調査時期 | 令和7年6月 |
| (4)調査方法 | (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。 |
| (5)有効回答数 | 1,596 名 |
| (6)回収率 | 53.2% (1,596 / 3,000)
・郵送回答:854 (53.5%)・インターネット回答:742 (46.5%) |
| (7)回答者の属性 | 性別:男性 648 人(40.6%)、女性 898 人(56.3%)
その他・回答したくない 36 人(2.3%)、無回答 14 人(0.9%)
年齢:18～19 歳(2.6%)、20～29 歳(10.7%)、30～39 歳(11.2%)、
40～49 歳(17.7%)、50～59 歳(19.3%)、60～69 歳(23.2%)、
70 歳以上(15.2%)、無回答(0.2%) |

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は 100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示した。このため、百分率の合計が 100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18～19 歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18～19 歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18 歳以上 75 歳未満の鳥取県推計人口 345,986 人（令和6年 10 月 1 日時点）から無作為に 3,000 人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は 1,596 人であり、回収率は 53.2%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

A = 必要標本数

α = 推定を誤る確率

$X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)

N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)

σ^2 = 母分散

ε = 精度

本調査では、信頼度を 95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96 であり、母集団の大きさは 345,986 人。精度を仮に 3%、母比率を 50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{345,986}{\left[\frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{345,985}{50 \times 50} + 1} = 1063.83$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は1,063人であり、有効回答1,596人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

B = 標本誤差

N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)

n = 回答者総数(1,596 人)

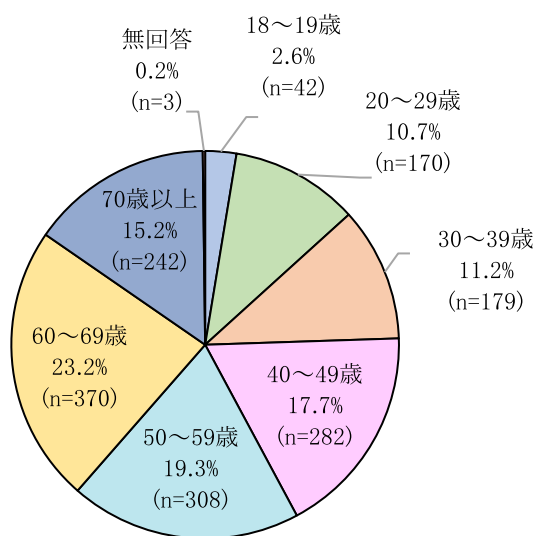
Q = 母比率(0.5 とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{344,390}{354,985} \right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,596}} = \pm 2.45$$

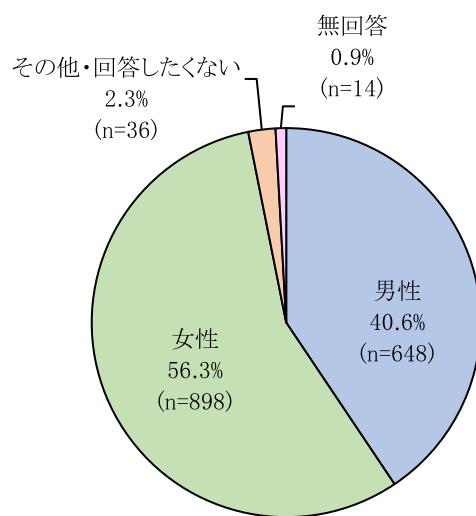
すなわち、標本誤差は $\pm 2.45\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

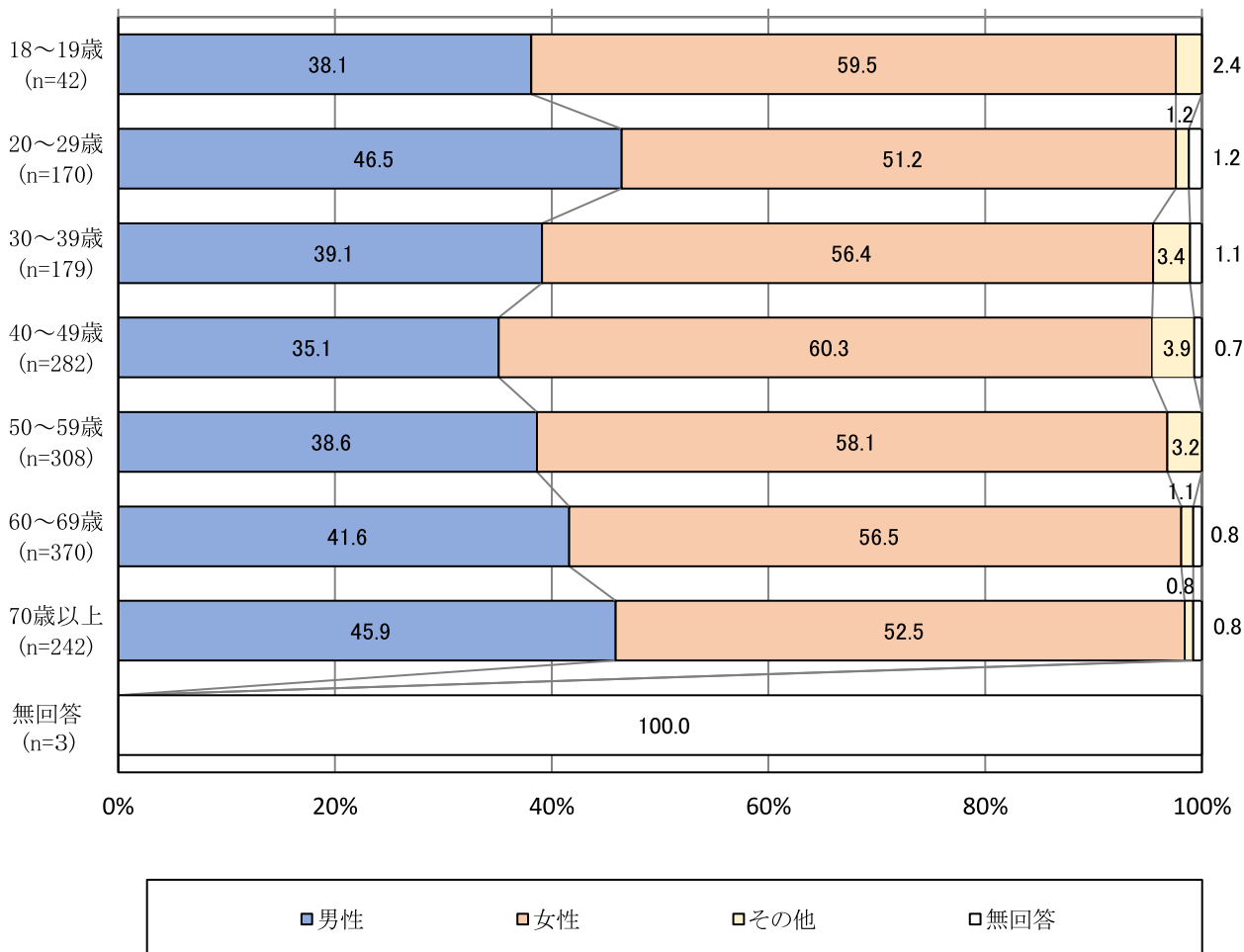
(1)年代



(2)性別



(3)性別 × 年代



＜市町村別調査対象者数＞

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	60,835	60,635	121,470	528	526	1,054
	岩美町	3,360	3,303	6,663	29	29	58
	若桜町	775	725	1,500	7	6	13
	智頭町	1,832	1,817	3,649	16	16	32
	八頭町	4,732	4,840	9,572	41	42	83
	(小計)	71,534	71,320	142,854	621	619	1,240
中 部 地 区	倉吉市	13,650	14,399	28,049	118	125	243
	三朝町	1,800	1,712	3,512	16	15	31
	湯梨浜町	4,941	5,068	10,009	43	44	87
	琴浦町	4,738	4,854	9,592	41	42	83
	北栄町	4,291	4,409	8,700	37	38	75
	(小計)	29,420	30,442	59,862	255	264	519
西 部 地 区	米子市	45,756	47,886	93,642	397	415	812
	境港市	10,431	10,365	20,796	90	90	180
	日吉津村	1,132	1,208	2,340	10	10	20
	大山町	4,496	4,399	8,895	39	38	77
	南部町	3,170	3,173	6,343	27	28	55
	伯耆町	3,122	3,113	6,235	27	27	54
	日南町	1,168	948	2,116	10	8	18
	日野町	763	723	1,486	7	6	13
	江府町	712	705	1,417	6	6	12
	(小計)	70,750	72,520	143,270	613	628	1,241
合 計		171,704	174,282	345,986	1,489	1,511	3,000

※人口は鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」より、令和6年10月1日時点の18歳以上75歳未満の推計人口を用いた。

<回答者の情報>

【性別】

区 分	件 数	割 合(%)
男性	648	40.6
女性	898	56.3
その他 ・回答した くない	36	2.3
無回答	14	0.9
計	1,596	100

【年代】

区 分	件 数	割 合(%)
18～19 歳	42	2.6
20～29 歳	170	10.7
30～39 歳	179	11.2
40～49 歳	282	17.7
50～59 歳	308	19.3
60～69 歳	370	23.2
70 歳以上	242	15.2
無回答	3	0.2
計	1,596	100

【職業】

区 分	件 数	割 合(%)
会社員 (公務員含む)	735	46.1
自営業 (家族従業者含む)	141	8.8
パート ・ アルバイト	281	17.6
学生	73	4.6
専業主婦 ・主夫	120	7.5
無職	232	14.5
無回答	14	0.9
計	1,596	100

【住まい】

区 分	件 数	割 合(%)
鳥取市	569	35.7
米子市	410	25.7
倉吉市	124	7.8
境港市	98	6.1
岩美町	29	1.8
若桜町	6	0.4
智頭町	20	1.3
八頭町	52	3.3
三朝町	15	0.9
湯梨浜町	43	2.7
琴浦町	39	2.4
北栄町	47	2.9
日吉津村	15	0.9
大山町	37	2.3
南部町	28	1.8
伯耆町	30	1.9
日南町	12	0.8
日野町	7	0.4
江府町	9	0.6
無回答	6	0.4
計	1,596	100